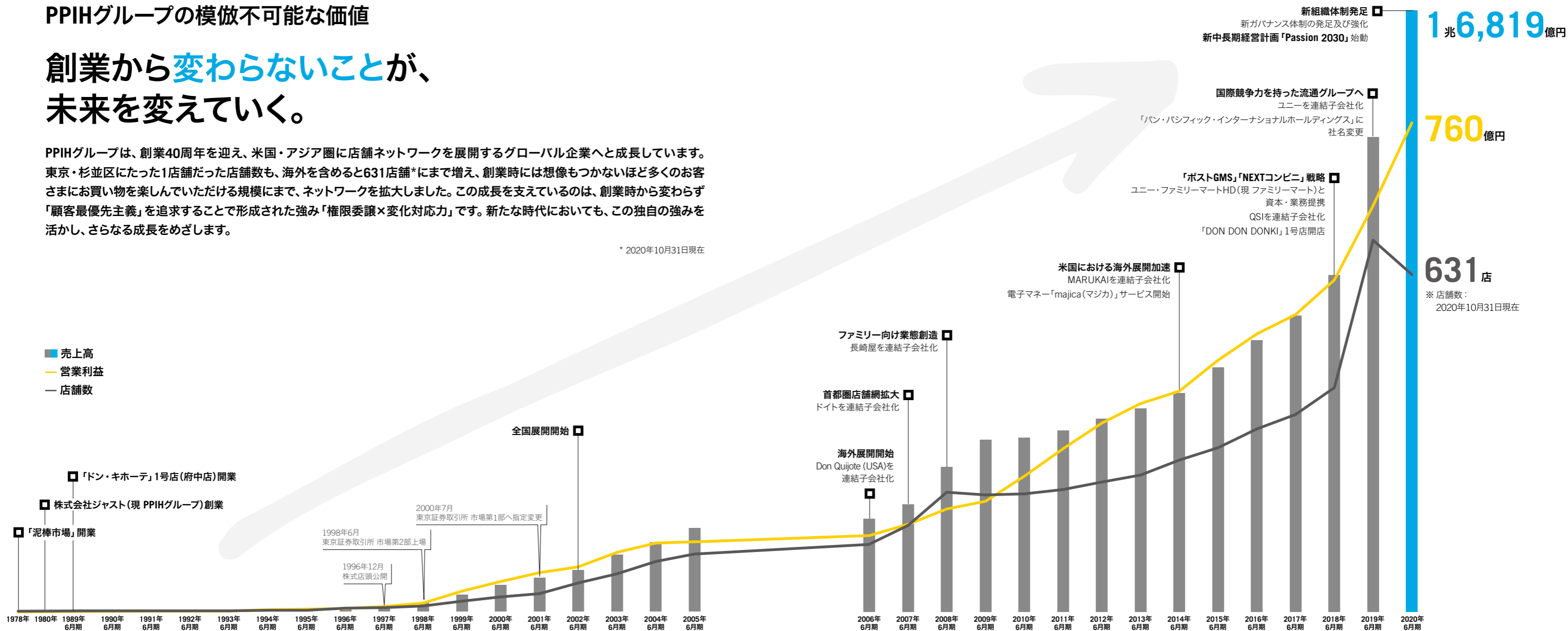


PPIHグループの模倣不可能な価値

創業から変わらないことが、 未来を変えていく。

PPIHグループは、創業40周年を迎え、米国・アジア圏に店舗ネットワークを展開するグローバル企業へと成長しています。東京・杉並区にたった1店舗だった店舗数も、海外を含めると631店舗*にまで増え、創業時には想像もつかないほど多くのお客さまにお買い物を楽しんでいただける規模にまで、ネットワークを拡大しました。この成長を支えているのは、創業時から変わらず「顧客最優先主義」を追求することで形成された強み「権限委譲×変化対応力」です。新たな時代においても、この独自の強みを活かし、さらなる成長をめざします。

* 2020年10月31日現在



私たちの原点

1978年、創業者である安田隆夫は、当社グループの前身である雑貨店「泥棒市場」を開業しました。小売業における経験のない状態からのスタートでしたが、誰よりも情熱を持ち、顧客最優先主義を徹底しました。コンビニエンスストアが深夜11時までの営業だった当時、深夜12時まで営業する雑貨店は多くのお客さまの評判となりました。

創業時から変わらない顧客最優先主義という姿勢と「他の大手小売企業の真似は絶対にしない」という独自の逆張り発想が、今もなお私たちの原点として存在しています。



顧客最優先主義の追求から始まった

ナイトマーケット 需要の発見 → 深夜営業開始のきっかけ

独特なお買い物空間の創造 → 創出価値「時間消費型店舗」の起点

信じて頼む「権限委譲」の開始 → 強みの源泉

創業の精神から生まれた不変の強み

権限委譲

店舗のスタッフが商品仕入、価格設定、陳列及び販売に至るまで、あらゆる自由裁量権を持つ「権限委譲」というシステムを構築しています。

変化対応

お客さまに最も近い存在の店舗スタッフが柔軟に判断を行う「個店経営」を徹底し、お客さまのニーズや外部環境の変化にスピーディに対応しています。

時代に合わせた強みの最大化

グループ創業40周年を迎え、次なる成長を遂げるための体制を構築しています。カンパニー制という新たな組織体制により、大幅な権限委譲を可能にし、グループの全体最適を図っています。また、現場の変化対応力をより強化するため、マシュマロプロジェクトを筆頭としたAIやデジタルを用いた戦略も着々とスタートしています。創業時から受け継がれる権限委譲の文化は、新たな時代を切り拓く強みとして息づいています。

